



訪問ガイド 2026

ボーヴァル動物園

サンティヤシ・から 39€

<https://zoobeauval.visit-tickets.com/ja/> ・ 優先入場チケット & 料金



歴史 & エクスぺリエンス

起源 & 歴史

パリの鳥籠から世界の宝へ

GOOGLE **4.7** ★★★★★ 98 187レビュー

TIQETS **4.8** ★★★★★ 2 335レビュー

ボーヴァル動物園の物語は、パリのアパートの一室から始まりました。1970年代初頭、女優だったフランソワーズ・デロード氏は、子供向け雑誌の購読特典として受け取った銀嘴カピバラインコをきっかけに、鳥類への情熱的なコレクションを始めます。その数はやがて300羽を超え、狭い住居では収容できなくなったため、彼女は夫である魔術師のジャック・デロード氏と共に、ロワール渓谷の田舎町サン＝アニャンへ移住することを決意します。

1980年、夫妻は「ボーバル」という地名を持つ土地に鳥類公園を開園させました。当初は約1,500羽の鳥が飼育されていましたが、フランソワーズ氏の情熱は止まることを知りませんでした。1989年、公園は本格的な動物園へと進化し、最初の哺乳類である大型猫科動物と霊長類を迎えます。この転換点は、単なる展示ではなく、動物たちの自然な行動を観察できる環境作りへのコミットメントを示すものでした。

1990年代に入ると、ボーヴァルはフランスの動物園史に名を残す快挙を成し遂げます。1991年、当時フランスで唯一のホワイトタイガーであるゴルビとライッサが導入され、年間入場者数が急激に増加しました。さらに1992年には大猿温室がオープンし、オランウータンやチンパンジーが広大な島々で生活できるようになりました。これらの希少な個体の展示は、パークの知名度を飛躍的に高め、ヨーロッパ有数の動物園としての地位を確固たるものにしました。

現代における最大のマイルストーンは、2017年のジャイアントパンダ繁殖成功です。ボーヴァルは世界で4番目、そしてフランス初となるこの偉業を達成し、絶滅危惧種の保全における国際的なリーダーシップを示しました。現在、ロドレーフ・デロード氏が率いる家族経営の下、45ヘクタールの敷地には約35,000頭の動物が生息し、生物多様性の保護と教育を目的とした活動が続けられています。

体験

ゲートをくぐると、都市の喧騒とは無縁の静謐な世界が広がります。木漏れ日が差し込む整備された遊歩道を歩き始めると、遠くから聞こえる動物たちの鳴き声や風が葉を揺らす音が、五感を刺激してきます。45ヘクタールという広大な敷地は、まるで小さな大陸を巡る旅のような感覚を与え、訪れる者の心を瞬時にリラックスモードへと切り替えます。

各エリアは細心の注意を払って設計されており、動物たちの生息環境を忠実に再現しています。熱帯雨林の湿った空気を感じさせる温室から、アフリカのサバンナを思わせる開放的な平原まで、空間ごとの気候や光の変化が体験を豊かにします。特に朝の柔らかい光の中で活発に動き回る動物たちを目にする瞬間は、言葉にならない感動と、自然への畏敬の念を抱かせるでしょう。



訪問の準備

実用的な情報

住所 ロワール＝エ＝シェール県・サン＝アニャンからの直接道路アクセス（D910）。無料駐車場込み。	営業時間 毎日午前9時から日没まで営業。季節によって時間が異なります。ショーの時間帯を確認してください。
料金 年齢に応じた子供割引料金。優先料金を利用するにはオンラインで予約してください。	所要時間 余裕を持ってすべてを見るためには理想的に2日間を計画してください。エクスプレスコースに従えば、充実した1日での見学も可能です。
写真 個人撮影は許可されています（特定の標示されたエリアを除く）。パーク内でのドローンの使用は厳禁です。	一般公開 ファミリー向け最高の目的地。ベビーカーの持ち込みが可能で、PMR（身体障害者等）対応のアクセシブルなスペースも完備されており、お子様連れにも最適です。

アクセス方法

アクセス & 交通手段

	自動車 ライオン駅 (4 min) ・象の駅 (5 min)
	自転車 Gare des Lions (4 min) ・ La Gare des Éléphants (5 min)
	徒歩 Gare des Lions (6 min) ・ La Gare des Éléphants (8 min)

LOCALISATION

Où se trouve ボーヴァル動物園？



📍 Avenue du Blanc — 41110 サンティヤン

🌐 47°14.859' N, 1°21.185' E



組織

組織

入口と主要ショーエリア

入場口付近には無料駐車場と情報センターがあります。ここから「アシカのオデッセイ」が行われるバシンや、「空のマスターズ」が開催される野外劇場へのアクセスが容易です。開園直後にこれらのエリアをチェックし、スケジュールを確認しましょう。

温室と熱帯エリア

公園の中核をなす4つの温室エリアです。大猿温室、ゴリラ熱帯温室、赤道ドーム（マナティやコモドドラゴン）、爬虫類エリアが含まれます。午前中に訪れることで、涼しい環境を活発に動く動物たちを観察できます。

平原と特殊種エリア

アフリカサバンナ、アジア高地、オーストラリアゾーンなど、屋外の広大な展示区です。ジャイアントパンダ、ホワイタイーター、コアラなどの希少種が生息しています。エクスプレスコースでは、これらの目玉エリアを優先して回るのがコツです。

アクセシビリティ



車椅子アクセス

公園内の駐車場と整備された通路に予約されたPSHスペース。



ファミリー向け

チャリオット（ベビーカー）使用可、幼児向け遊戯エリアとパフォーマンスあり。



オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語



必見スポット

選 択

絶対に外せない絶景スポット

01

中国高地エリア

ジャイアントパンダ

フランス初、世界4番目の繁殖成功を誇り、絶滅危惧種保全の象徴です。朝の涼しい時間帯に訪れると、活発に枝に登ったり餌を食べたりする姿が見られます。子供たちにとって最も興奮するスポットの一つです。

💡 2017年の誕生は世界中で報道され、国際的な注目を集めました。

02

大型猫科動物エリア

ホワイトタイガーとホワイトライオン

1990年代初頭に導入され、フランスの動物園史を変えた白化個体です。その美しい毛色と威厳ある佇まいは、アマチュア写真家にとっての夢の被写体です。ケージの質の高さも評価されています。

💡 ゴルビとライッサの導入により、入場者数が倍増しました。

03

熱帯温室

大猿温室

オランウータンやチンパンジーが広大な空間で暮らす場所です。**11時前**に訪れると、涼しい温度の中で活発に動き回り、人間に近い行動を観察できます。ガラス越しの観察も可能で、間近での接触感が得られます。

💡 1992年に開館以来、霊長類研究の拠点となっています。

04

水生動物バシン

アシカのオデッセイ

訓練士との連携による没入型パフォーマンスです。アシカの知性と敏捷さを間近で見ることができ、家族全員で楽しめるエンターテインメントです。席の確保は必須であり、早めに到着してください。

💡 動物の福祉を尊重した科学的トレーニングに基づいています。

05

野外劇場

空のマスターズ

猛禽類が自由に飛び回る壮大なショーです。空中パフォーマンスは圧巻であり、鳥たちの威厳と美しさを間近で感じられます。天候に左右されない屋内部分も含むため、雨天でも楽しめます。

💡 自由飞翔する鳥たちは、自然な行動を示しています。

06

オーストラリアゾーン

コアラ

フランスでは稀なコアラを見られる貴重な機会です。ユーカリの枝で休んでいる姿は愛らしく、写真撮影の人気スポットです。オーストラリアの生態系について学ぶこともできます。

💡 ボーヴァルはフランスで数少ないコアラ展示施設です。

07

アジア平原

インドサイ

絶滅危惧種であるインドサイの保護活動の一環として展示されています。その巨大な体型と独特な角は迫力があり、生態系の重要性を考えるきっかけになります。

💡 フランスでは唯一の展示例ともいわれています。

08

赤道ドーム

マナティ

温かい水域で悠々と泳ぐマナティは、神秘的な存在感を放ちます。水中ガラス越しの観察が可能で、穏やかな動きに癒やしを感じます。海洋生物への関心を高める素晴らしい展示です。

💡 赤道ドームは熱帯生態系を再現しています。

アドバイス

完璧な訪問のための秘訣

TIMING

毎日午前9時00分に厳格に開園します。この正確な時間に到着することで、待ち行列を避け、動物たちが最も活発な朝の時間を最大限に活用できます。

PARCOURS

45ヘクタールは広大です。公式サイトからマップをダウンロードし、エクスプレスコースに従うか、2日間のチケットを取得して余裕を持って見学しましょう。

PAUSE

パーク内のレストランやカフェを利用するか、事前に軽食を持参してください。特に暑い日には水分補給を忘れず、日陰のある場所で休憩を取りましょう。

AUDIOGUIDE

モバイルアプリを通じてデジタルコンテンツを提供しています。多言語対応しており、効率的なコース計画に役立ちます。到着後すぐにダウンロードしてください。

BILLET

窓口価格よりも割引料金を得るため、必ずオンラインで予約してください。夏季ピークシーズンには入場制限がある場合もあるため、早期予約が重要です。

PHOTO

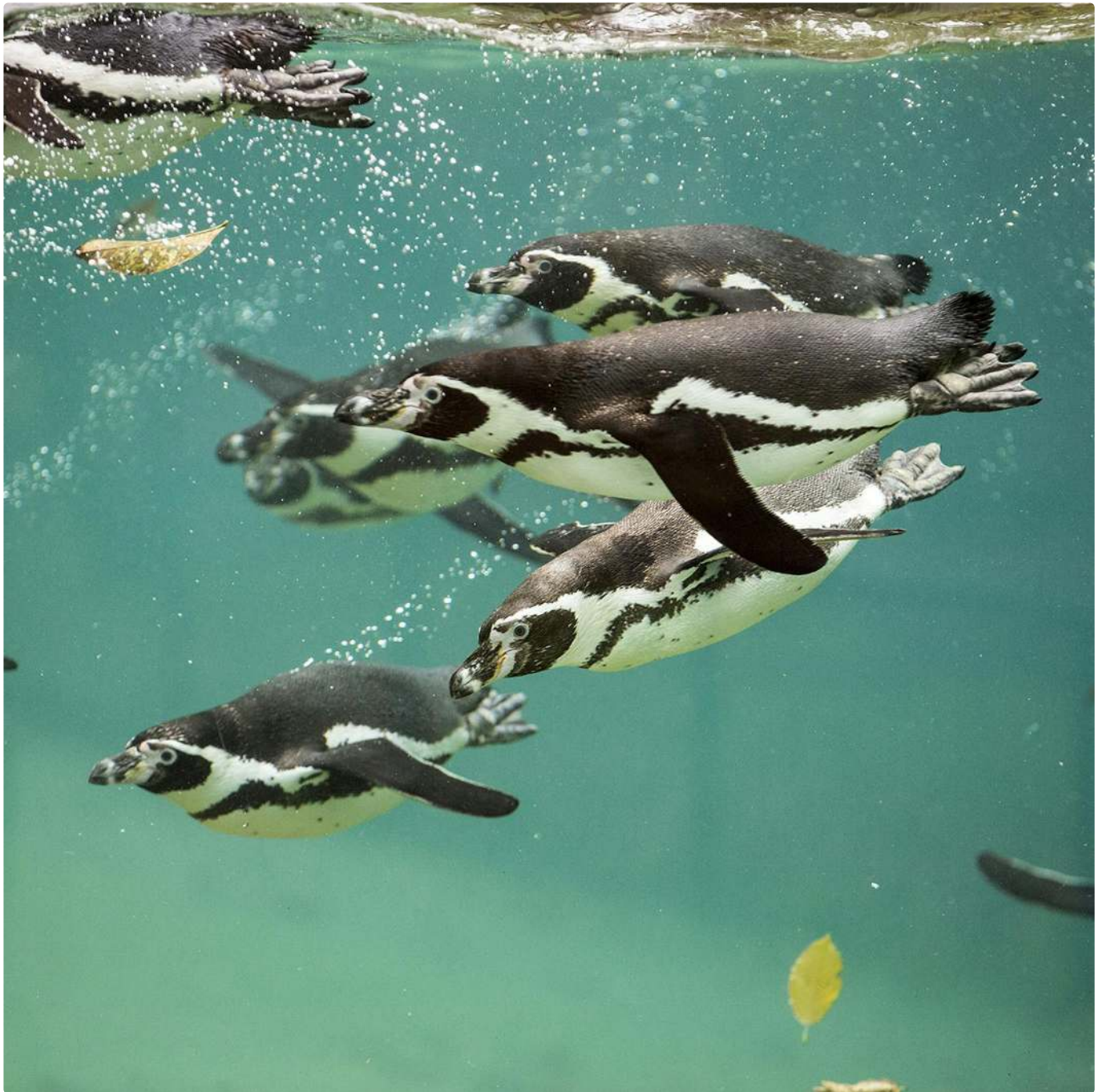
個人撮影は許可されていますが、ドローンは厳禁です。パンダやホワイトタイガーのエリアでは、朝の光が美しく、最高の写真が撮れます。

ENFANTS

ベビーカーの持ち込みが可能です。ハンドルと安全ベルト付きのものをお勧めします。幼児向け遊戯エリアもあり、小さな子供連れにも安心です。

CONFORT

歩きやすい靴を履き、季節に応じた服装をしてください。夏は防暑対策、冬は防寒具が必要です。PMR対応のアクセシブルなスペースも完備されています。



よくある質問

よくある質問

ボーバル動物公園の一日のためにどのチケットを選ぶべきですか？

エクスプレスコースに従う場合、1日間のチケットで十分です。ストレスなくすべてを見たい場合は、2日間のチケットをお選びください。年間パスであるZooPassは、2回目の訪問以降または地元住民にとって費用対効果が高いです。

窓口よりもオンライン予約の方が安いですか？

はい、公式の実用情報によると、オンライン購入には割引料金が適用されます。これにより、入場を確保でき、ピーク時間帯の列を避けることもできます。

チケット + 宿泊の組み合わせプランはありますか？

動物公園は豊富なホテルプランを提供しており、パッケージ化も可能です。テーマ宿泊施設とパークへのアクセスを組み合わせるには、公式サイトで空き状況をご確認ください。

ボーバルの見学にはどれくらいの時間がかかりますか？

完全な没入型体験のためには2日間を計画することをお勧めします。1日のみの場合は、開園時に到着し、公式マップを使用して温室と主要な平原を優先してください。

ショーはチケットに含まれていますか？

はい、「アシカのオデッセイ」と「空のマスターズ」が含まれています。ただし、3月から11月の期間のみ開催されます。正確なスケジュールは入口でご確認ください。

ご存知ですか？

エピソード & トリビア

フランス初のパンダ繁殖

2017年、ボーヴァルは世界的な快挙を成し遂げました。フランス初、世界4番目のジャイアントパンダ繁殖成功のパークとなり、絶滅危惧種の保全における国際的な評判を固めました。この歴史的な誕生は大勢の人々を集め、パークの使命を象徴する出来事となりました。

パリ発祥の情熱

この動物園はロワールの田舎とは遠く離れた場所で生まれました。フランソワーズ・デロード氏のパリのアパートでの鳥のコレクションから始まり、1980年に家族がサンティヤンに定住し、プライベートな情熱をヨーロッパ最大級の動物園へと変えました。

45ヘクタールの多様性

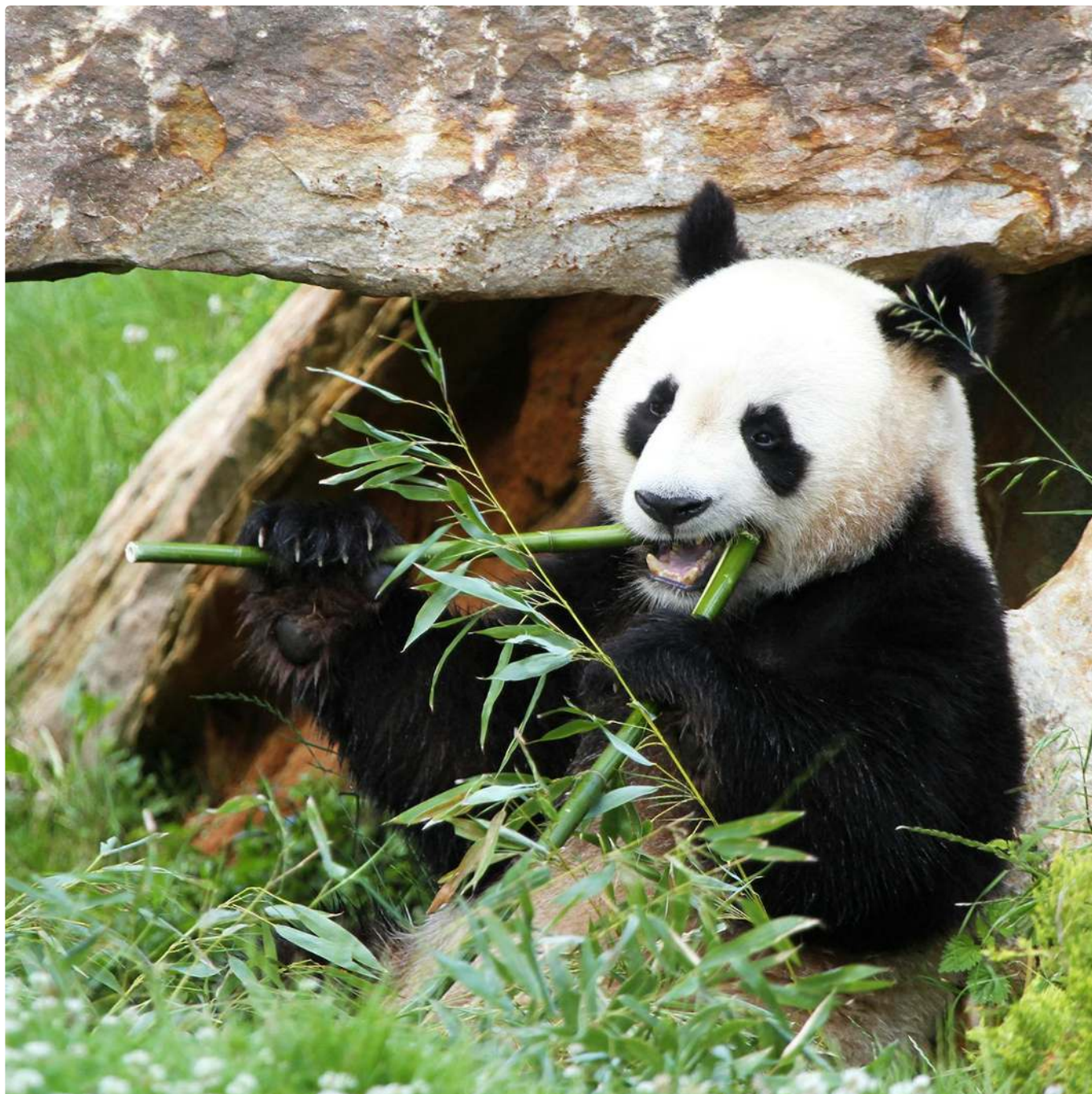
約35,000頭の動物が45ヘクタールに分布するボーヴァルは、卓越した生物多様性を誇ります。この広さにより、コアラやロクセルランノサップザルなど、フランスでは稀または唯一の種を一度の訪問で遭遇できます。

白化個体の先駆者

ボーヴァルは1990年代初頭からホワイタイグーやホワイトライオンなどの白化個体を展示し、フランスの動物学史に名を残しました。これらの希少な個体はパークの知名度向上に貢献し、現在でも目玉アトラクションとなっています。

博物館周辺

動物園訪問前後には、サン＝アニャン周辺の魅力的なスポットもおすすめです。歴史好きなら、15世紀のステンドグラスで有名なサン＝ピエール教会を訪れてください。芸術愛好家には、プロワ城にあるプロワ美術館が文化的な補完として最適です。食事は、地元のヤギ肉料理で定評のあるレストラン **Le Clos des Tilleuls**でゆっくり楽しむのが良いでしょう。また、動物園からの帰り道に寄れるサン＝アニャン植物公園では、バラ園を含む静かな散策ができ、一日の疲れを癒やすことができます。シャンボール城との組み合わせも人気で、ロワール渓谷の週末旅行として完璧です。



ボーヴァルでの時間は、単なる観光ではありません。それは生命のつながりを実感し、地球の多様性を守ることを深く考える機会です。帰路につく際、お子様の輝いた瞳や、パートナーとの共有した微笑みを思い出せば、この訪問が人生に残る宝物となることを実感するはずです。心に残る出会いのために、ぜひ計画を立ててください。